

イスラエル大使（代理）瑞陵高校を訪問（2021年12月23日）

12月23日からジェイアール名古屋高島屋で杉原千畝展が始まりました。その開会式典に出席したイスラエル大使館のバラク＝シャイン広報官、通訳の中山晶子さんが、関東瑞陵会の安島会長（18回）の案内で瑞陵高校を訪問されました。

学校はちょうど終業式。（生徒はHR中）校長・教頭の歓迎を受けセンポスギハラメモリアルを見学、感喜堂での食事の後、約30名の生徒と歓談されました。

感喜堂は生徒会文化常任委員会が開催した「杉原千畝のツクラレカタ」の展示中。17才の千畝さんの文章を現代語訳した文章と委員会作成の資料に囲まれての質問会になりました。当初の計画では1時間を予定していましたが、新聞社とのインタビューが入ったとのことで30分になり、生徒は大層残念がっていました。

短時間でしたが、外国を知ろうとする気持ち、英語で話してみようという気持ちが育つ切っ掛けになると良いなと思っております。

この席で、バラク広報官から2022年の国交70周年にもう一本オリーブを植樹する用意があるというお話を頂きました。

